

今日こそ原則を貫き固く陣形の強化を

3・27三里塚現地集会は、いよいよあと三日とせまりました。二期着工に向けた政府・空港公団、権力、革マルによる反対同盟解体攻撃はますます激化しており、われわれは真に三里塚闘争の勝利を目指し、「空港絶対反対・農地死守・実力闘争」の基本路線を貫く反対同盟と連帯し、第一公園での集会に全力で決起しようではありませんか。

基本路線を堅持する 反対同盟と連帯して闘う

現在、三里塚で起きている事態の本質とはどういふことなのでしょう。 「混乱」の原因は、いわゆる「一坪再共有化」をめぐる問題です。

「一坪再共有化運動」は、「土地を売り金に換える運動」であることは誰が見ても明らかであり、反対同盟が十八年間にわたって闘い抜いてきた、「農地死守・実力闘争」の基本路線を放棄し、反対同盟を総条件派化させ三里塚闘争を敗北の道に追いやるものです。

すなわち、パイプラインの完成という既成事実と、政府・公団、権力の相次ぐ「二期強行発言」の桐喝に屈服した一部の人間が、「空港との共存」条件派に脱落したということであり、それは成田用水推進派が「一坪再共有化運動」の先頭にたっていることを見ても明らかです。

動労千葉が同盟の基本路線をあくまで堅持し、空港用地内に土地をもつ農民と連帯して闘うと決定したことはまったく当然であり、百パーセント正しい方針であります。

動労「本部」革マルの 「三里塚との共闘」を弾劾する

一方、動労「本部」は「一坪再共有化運動」を支持し、反対同盟から脱落した部分を「勇気ある決断」とほめたたえ、なんと三月十三日に「共闘」を申し入れたのであります。

動労「本部」革マルは、国家権力と血み泥の闘いを展開してきた反対同盟を先頭とする闘いに、これまでなんといつてきたのでしょうか。

三里塚闘争を「スパイの運動」などののしり、「一線を画す」なる決定を行い、反対同盟との労働連帯を貫く動労千葉の排除と組織破壊を暴力で強行し、それはいまでも続いているではありませんか。

そして今日では、政府・自民党、国鉄当局の労働運動破壊攻撃に全面屈服し、闘う労働者、労働組合に襲いかかることで生きのびようとする正真正銘、労働者の敵として登場してきています。

「情勢が厳しいから絶対反対では闘えない」条件闘争にきりかえ、二期工事―空港建設に協力しよう、「いま闘おうなどという奴は挑発者だ」実力阻止などという奴を叩き出せ」と主張する動労「本部」革マルが、他ならぬ条件派第二同盟の本質を「正しく」見抜き、もろ手をあげて歓迎し、「共闘」を申し入れたことはむしろ当然であり、的を得ているといえるでしょう。

すべての国鉄労働者は 3・27三里塚へ決起しよう

情勢が厳しくなれば、闘いから脱落する者が出ることは階級闘争の歴史が教えています。問題は、脱落分子が敵の手先となり闘いを敗北に導こうとしているのであり、いまこそ原則を守り、反動と対決しこれを打ち破る闘いが、とりわけわが国鉄労働者に求められています。そのためにも、3・27三里塚第一公園への総決起を実現し、闘う主体―陣形の強化をかちとろうではありませんか。

いざ3・27三里塚第一公園へ！

3・27	全力で三里塚へ
日時	三月二十七日(日) 正午
場所	三里塚第一公園
集合場所	成田運転区 十時
服装	作業服

勝利争闘ジェット三里塚 / 砕粉革行・調臨

へ公園第一三里塚 3.27

よせ砕粉を攻撃組織破壊で団結な強固の家族員組合全
